

---

# テレビ番組のクロスメディア展開

～ デジタル放送・ブロードバンド・モバイル～  
事例を中心としたケーススタディ

(株) トマデジ

- デジタル放送のご紹介
  - 双方向システム概要
  - B B に先行して発展している双方向番組
- テレビ番組のクロスメディア展開
  - ブロードバンドとの連動例
  - モバイルとの連動例

チキンレースデモンストレーション

## •実行段階

- ニュース映像の提供
- 地上波アナログ番組との  
弱い連動コンテンツ
- BSデジタル番組との  
強い連動コンテンツ

## •準備段階

- 権利処理体制の準備
- 事業性の模索

ザ・ベースボールデモンストレーション

## • 実行段階

- 地上波アナログ番組との弱い連動
  - i-appli、java-appli、待受け画面 etc
- 地上波アナログ番組との強い連動
  - クイズ（オールスター感謝祭）など
- BSデジタル番組との強い連動
  - クイズ番組、株価予想番組など

## • 準備、実験段階

- OOHメディアとの連動
- クーポン配信
- FOMAなどTV電話機能の番組利用

- 現在規格策定が実行されているもの
  - 固定受信
  - 携帯受信
  - 移動体受信
  
- 将来規格策定の可能性あるもの
  - B B 端末機能（イーサネット I F 他）
  - Java 実行環境の搭載（DVB-MHPの採用）

- 局や番組H Pのサーバー
  - 静的なHTTP
  - アプリケーションサーバー
  - ネット会員の顧客D B

ただし、局内に専用線にて配置する場合も多い。

なぜ？

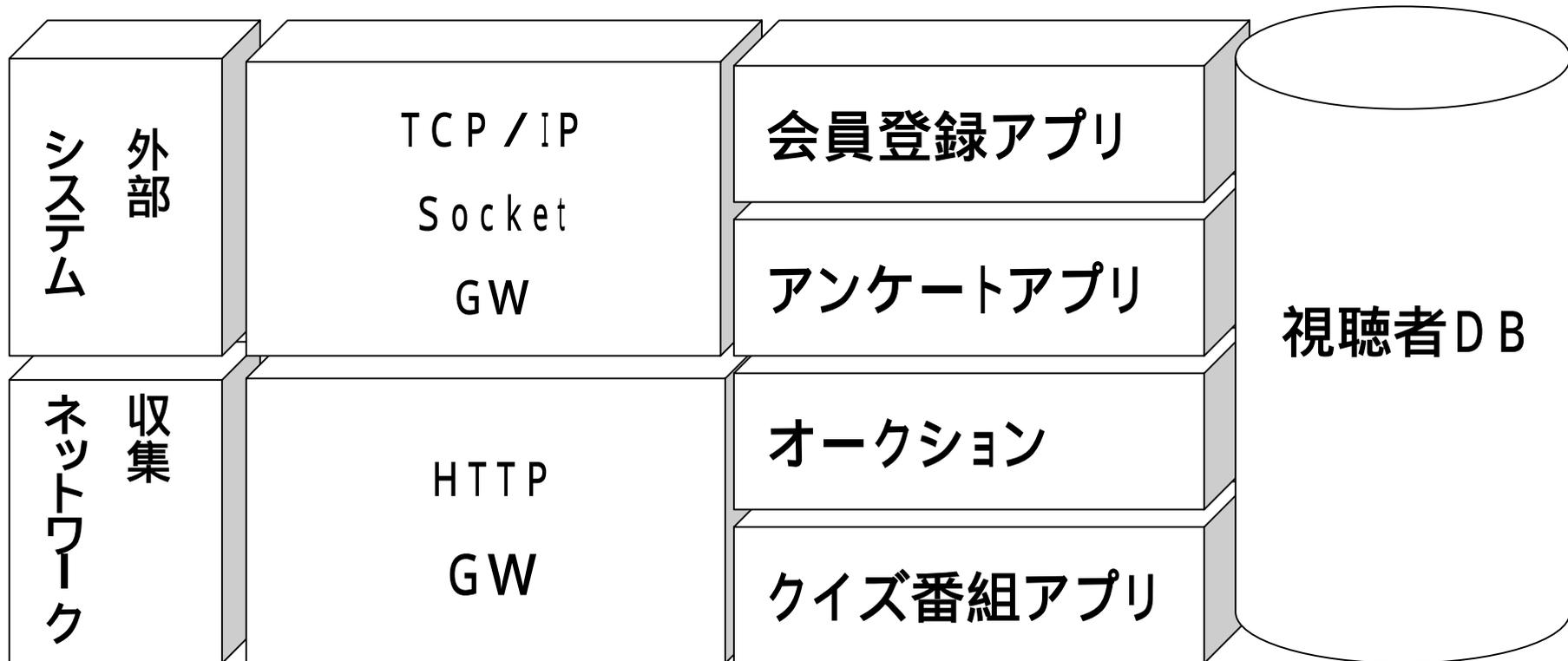
- 放送局自身D C的なつくりだから。
- 番組連動コンテンツがないため、ピーク処理が不要。

- 視聴者 D B
- アプリケーションサーバー
- ゲートウェイ

放送局外に置く場合が多い。  
なぜ？

- ゲートウェイとの接続性
- 主体が放送局自身ではないことが多い。
- 番組連動コンテンツがあるので  
ピーク処理が必要

# クロスメディアシステム ~ 視聴者DBとASP ~



TIME OVER デモンストレーション

- 保有する設備

- デジタル放送用双方向センター
- データ放送送出設備保有
- データ放送制作システム

- 提供するサービス

- 放送局に対して、視聴者DBの運用
- 広告会社に対して、マーケティング利用

- メリット

- 放送局設備と密に連動したシステム
- 放送局のマインドを持った体制

- 保有する設備
  - 収集ネットワーク
  - 視聴者DBとASP
- 提供するサービス
  - 放送局に対して、視聴者DBの運用
- メリット
  - 比較的安い
  - その他の通信サービスと連動したサービスが実現する可能性。

- 保有する設備
  - デジタル放送用双方向センター
- 提供するサービス
  - S P に対して
    - H D D スペースの販売
    - 顧客情報の提供
    - 双方向 A S P
- メリット
  - 標準規格を超えた独自チューナー
  - メーカー主導の新しいプラットフォームの可能性を持つ

## まとめ クロスメディア展開の事業性とキーファクター

---

- 事業モデルのキーファクター
  - 100万人の視聴者DB
    - 無料放送 広告収入 Tマーケティング
  - 10万人の視聴者DB
    - 有料放送 コンテンツ課金
- コンテンツのキーファクター
  - お金を取れる付加価値
- プラットフォームのキーファクター
  - 放送業界としてどこまで共用化できるか
  - 競争の土台をどこまで上げられるか